

会 議 記 録					
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会			会議場所 第3委員会室	
				担当職員 藤村	
日 時	平成25年9月25日(水)		開 議 午前 10 時 30分		
			閉 議 午後 4 時 59分		
出席委員	吉田 田中 並河 山本 中村 西村 石野 堤 <木曾議長>				
執行機関出席者	山内政策推進室長、桂政策推進室担当室長、竹村政策推進課長、柏尾政策推進室担当課長、田中安全安心まちづくり課長 岸企画管理部長、山本夢ビジョン推進課長、浦夢ビジョン推進課副課長、内田秘書広報課長、西田秘書広報課副課長、中川人事課長、片山人事課副課長、木村契約検査課長、畑契約検査課担当課長、田中契約検査課副課長 田川会計管理室長、山内会計課長、荻野会計課副課長				
事務局	今西議会事務局長、藤村事務局次長				
傍聴	可・否	市民 1名	報道関係者 0名	議員 1名(中澤議員)	その他 0名

会 議 の 概 要

1 吉田委員長 あいさつ 開議

2 日程説明

3 議案審査

(1) 平成24年度一般会計決算認定について

10:38 ~

【政策推進室】

政策推進室長 あいさつ

各課長 説明

~ 11:04

質疑

<並河委員>

P7、大規模スポーツ施設の誘致等に係る業務委託の内容である広報ビデオ、イメージ図等の単価は。

P10、コミュニティバスについて、今後、市立病院行きを運行する考えは。

P11、ふるさとバスについて、並河駅行きの乗車人員は。

<政策推進課長>

広報ビデオ(DVD)に4万円、整備イメージ図の作成に48,000円、整備イメージ鳥瞰図の作成に42,000円、計13万円を支出した。

現在計画策定中であり、アンケートも集約中である。自治会等いろいろな団体にヒヤリングもしており、その中で検討していきたいと考えている。

並河駅線の乗客数は、H24が7,880人、H23が7,373人で若干増えている。

< 堤委員 >

P 8、セーフコミュニティについては大きな経費がかかっているが、取り組み前後の変化は。

P 9、南つつじヶ丘コミュニティセンターの土地は元々開発業者から公園用地や保育園用地として市に寄贈されているもの。それがどうしてこうなったのかそのあたりの説明をされたい。

P 12、千代川駅周辺のバリアフリー基本構想について、地元で議員も入り協議会が設立されているが、進捗状況の説明がないように思うがどうか。

< 安全安心まちづくり課長 >

H 24は、再認証取得のために例年より多かった。効果は、犯罪認知件数はH 10と比較すると1,321件がH 24では390件と大幅に減少した。交通事故発生件数H 23の624件がH 24は499件に、不慮の事故による死者数はH 17の27件がH 23には16件に減少した。保育所等の外傷予防対策により事故数が減少した。視察件数も多く、その中には湯の花温泉等市内宿泊もされており、経済効果も出てきている。

< 政策推進室長 >

S 50年代に南つつじヶ丘の開発計画が出てきた。幼稚園・保育園用地を業者から寄付してもらおうということで開発協議が整った。転入者の人口減や少子化、また近隣に私立幼稚園が進出したことで幼児教育施設がさらに必要かという検討がなされてきた。寄付いただいた3筆が使用されずに残った。業者は幼児教育用地として寄付したものであるので、協議の結果、住民が承諾するなら用途変更はやむを得ないとなった。そこで今最も必要な施設は自治会施設ということになった。3筆のうち2筆の土地を処分して、その資金で残りの1区画にコミュニティセンターを建設しようとなったものである。昨年度売却した収入でもって、今年度コミュニティセンターを建設しようとするものである。

< 政策推進課長 >

J R千代川駅東側整備促進協議会は4町自治会でH 23年6月30日に設立された。年に1回は要請に応じて説明に行っている。その時、議員の出席はなかった。

< 堤委員 >

昨年度決算に基本設計業務委託料等が挙がっているということは、公の施設として建設するのか。各自治会館条例に基づいて一定分を補助するのか、市が公の施設として建設するのかどちらか。

議員はメンバーに入っていないから連絡がないのか、自治会長だけに説明するのか。それならなぜ、設立の時には呼ばれたのか。

< 政策推進室長 >

各自治会が自治会館を建てられるときは生涯学習施設整備補助金に基づき、いくらかの補助があるのみ。南つつじヶ丘は業者の寄付であり、それは各土地代に上乘せされているとの理屈になる。最終、亀岡市の土地になっているが、元々は住民が土地を購入したことによって確保した土地であるという議論があった。結果としては市の土地であり、住民に返すわけにはいかない。市が土地を処分する了解を取って、売却した分で建設する。それ以上の市の持ち出しはない。

< 政策推進課長 >

促進協議会からの要請で説明に行っている。本日の話は協議会にも伝える。

< 堤委員 >

議員を呼ぶ呼ばないは協議会の話だということは分かるが、会議に出席していな

かったならば後で議員に情報提供すべきである。

<石野委員>

P. 9、防犯協会補助金30万円から各地域の各支部へ協会から補助が出ているのか。地域では経費の捻出に苦労している。見解は。

P. 12、JR山陰本線関連で、H24は馬堀駅への快速停車実現に向けた活動はしたのか。

<安全安心まちづくり課長>

市防犯協会の活動費として補助している。その先の地区活動については、出ているかどうかは承知していない。

<政策推進課長>

馬堀駅の快速停車については、複線化促進協議会の中でも要望している。市でも機会あるごとに要望している。

<石野委員>

防犯協会では毎週土曜日に青パト、ゼロパト等やっているが消耗品等お金の出るところがない。役員の自前である。安全安心のまちづくりで協会に補助を続けるならば、協会にそのことを言ってほしい。

<西村委員>

南つつじヶ丘の説明はこじつけに聞こえる。各自治会は苦労している。南つつじヶ丘だけ、なぜ地元負担なく建設できるのか。街路灯設置も思いつきで集中してつけているし、消火栓の格納箱も順番につけてきたのに、集中して設置したりしている。前の踏襲を踏み外したやり方が目立つ。もう一度考えを聞かせられたい。

<政策推進室長>

土地は業者が提供し、そこに市費で保育所等を建設するというを市と開発業者とが協定している。しかし、その協定書からすると履行していないので亀岡市に非があり、返却ということになる。でも、いまさら幼児教育施設は必要な施設ではないので、業者と住民の了解のもとでやっている。市の単費で建設するのではなく、全額、土地の売却益を限度に建設している。

<西村委員>

幼児教育施設は建てないが寄付するというで承諾を得たと聞いている。売却益は市のものではないのか。他町の自治会は何も言っていないか。

<政策推進室長>

特には聞いていない。少し違うが、財産区の山林を売って建設するのと似ている。

<堤委員>

21町、全て公の施設の建て替えの時は土地を地元で用意して、条例に則った範囲で補助を受けて建設している。その経過で来ているのにここだけちょっとおかしいのではないか。

<政策推進室長>

南つつじヶ丘の所有物ではなく、市の公共施設として建設する。それを地元で管理していただく。

<堤委員>

最初の説明はそうではなかった。

<田中副委員長>

P7、カーボンマイナスプロジェクトに係る3つの大学への委託料の内訳は。また、それぞれの成果は。

P11、地方バス路線の補助事業について、原神吉線の亀岡市域は。

< 政策推進課長 >

それぞれ50万円ずつ。龍谷大は、DVDを作成し、各学校で利用している。学園大は成果品として書類をまとめてもらっており、立命大も報告書の作成をもらった。

原神吉線は区間21.1kmあり、旭町の6.1kmが亀岡市域である。

< 田中副委員長 >

実績欄に成果内容を記載されるよう検討されたい。

< 中村委員 >

P8、セーフコミュニティ推進協議会の委員の報償費5,000円は現金か。もしそうなら市の商品券にし、地元活性化につなげてほしい。

P9、住宅公社破産に伴う残地36筆の土地購入費が拵がっているが、これで住宅公社の財産はゼロになったのか。処理は終わったのか。

P10、コミュニティバスは何台で運行しているのか。運行業務委託の範囲は。例えば車検等は全て業者に委託に入っているのか。

歳入について、馬堀の敷地5件分の使用料及び敷地面積は。

< 安全安心まちづくり課長 >

現金で5,000円である。市の商品券のことは地域経済が回るように検討する。

< 政策推進課長 >

メディアスの一部が競売できずに残っている。他は全て処分済みと裁判所から聞いている。

< 政策推進課担当課長 >

1台で運行している。名義は京阪京都交通。原価償却分を市が費用負担している。運行に係るすべての経費は京阪京都交通に任せて、それを市が負担している。

< 政策推進課長 >

敷地使用料は山口マタニティクリニックの駐車場、関電の電柱と支線代、ケイ・オプティ・コム光ファイバーケーブルの占有、リビングサービスに駐車場として貸している。それぞれ市の条例、又は府の条例に準じて金額を設定している。

< 中村委員 >

2つの駐車場の売却は考えているのか。

< 政策推進課長 >

山口マタニティクリニックは将来的に買い取ってもらうことになっている。リビングサービスは市の代替え用地なので、いずれは市の公共用地として使っていくのでその間貸している。

< 山本委員 >

P7、カーボンマイナスプロジェクトに係る委託はずっと続けるのか。計画は。

< 安全安心まちづくり課長 >

H24～H26までの3年で協定を結んでいる。今後、継続するかは、最終調整に入っている。

< 山本委員 >

こうなればという最終目標は持っているのか。

< 安全安心まちづくり課長 >

疲弊している農村部分の活性化が目標である。クールベジタブルというブランド野菜を作って販売しているが、順に販売額も伸びている。今、20件程度の農家が参加しているが需要を見ながら考えていく。こういった経費をかけずにお金が回る仕組みをつくるのが最大の目的だが、全てが回るにはまだ若干の時間はかかる。

< 並河委員 >

千代川駅のバリアフリーの見通しは。

< 政策推進課長 >

今年度、東側広場の整備に向けて、測量、実施設計を行い、来年度、再来年度に整備していきたいという思いはある。駅舎のバリアフリー化は千代川駅は3千人以上の乗降客があるのでH32年度までにJRとしてしなければならない駅となる。順番を待つことになるので、要望していきたい。駅舎の整備水準により、市の財源も必要となるので今後整理していきたい。

~ 11 : 47

(休 憩)

13 : 15 ~ 14 : 00 現場視察 安詳小学校放課後児童会

14 : 35 ~

【企画管理部】

企画管理部長 あいさつ

各課長 説明

~ 15 : 27

質疑

< 西村委員 >

P17、キラリ 亀岡について、新聞折り込みをしているが、府民だよりはシルバー人材センターに委託し戸配されている。キラ亀も一緒に配ったら安価で全家庭に配布できないか。キラ亀お知らせも月1回にして同じく戸配してはどうか。

< 秘書広報課長 >

昨年4月から府民だよりはポスティングされている。本市でポスティングの業者はシルバー人材センターしか受け手がなく、府は1部当たり14,07円で委託し、約36,000部配布されている。キラ亀は4ページもので6.1円、6ページもので9.4円の折込料がかかっているが、単純計算で府と同額でシルバーに委託すると320万円ほど増額になる。シルバーに何度か打診したが、事務負担が膨大で、また、山間部、中山間部への配達は厳しく、府民だよりと一緒にと言っても値段は下がらないと聞いている。南部各市でも自治会加入率が低く、同様に頭を痛めているが、自治会配布か新聞折り込みされている。引き続き検討していきたい。

< 西村委員 >

そんなに手間がかかるものではない。少々高くついても全戸に届けられ、長年の課題が解消できる。お知らせを月1回にすることはどうか。

< 秘書広報課長 >

速報性を考えて今取り組んでいる。月1回だとボリュームもあり、記事が追い付かないこともある。検討はしていきたい。先ほどのポスティングの件も引き続き、話をしていきたい。

< 並河委員 >

P 1 4、小規模修繕工事について、実績は増えているのか。小中学校でもっとあってもいいのではないかと思う。

P 1 8、市長への手紙 1 5 6 件は具体的に市政にどう生かされているのか。

< 契約検査課長 >

件数は H 2 3 より減っている。H 2 3 は 3 3 件、H 2 4 は 2 5 件。小中学校の修繕を計画的に修繕しようとするれば小規模修繕工事に合わないこともあるができるだけ利用いただくよう周知している。庁内の発注時期を周知して機会拡大を図っている。

< 秘書広報課長 >

返答を希望する人には全部返答している。内容を分析すると昨年度は篠の事故に関して 3 8 件、スタジアム建設関連 1 6 件のうちアユモドキ関係 1 1 件であった。各々担当課に照会し、基本の回答を作成させるが、関係課は共通認識し、必ず理事者は目を通してしている。貴重なご意見を参考にしている。

< 山本委員 >

小規模修繕工事の受け付けは随時だが、ある業者から市から何の連絡もないと聞いた。1 年経ったら新たに登録し直さなくてはならないのか。

< 契約検査課長 >

業者登録の有効期間は 2 年である。

< 山本委員 >

2 年間と知らなかったために切れていた状況であった。一度登録したら継続できるような制度に検討されたい。

< 契約検査課長 >

十分検討する。

< 堤委員 >

P 1 4、契約関係について、道具もない従業員もない業者でも資格があれば入札に参加させているが、「努力している業者」の基準とは。今後は実態を見て実施されたい。何か思いは。

P 2 0、総合計画審議会は毎年開催しているがなぜか。

< 契約検査課長 >

いわゆるカバン業者のことかと思う。工事すれば必ず検査し、そのあたりのことも十分注意している。情報があれば教えていただきたい。十分に調査する。総合評価を活用しながらやっていきたい。

< 夢ビジョン推進課長 >

審議会は条例に基づき設置しており、任務は計画策定と計画審議が内容である。進行管理部会は 8 回会議し、進行管理にかかる評価・検証を行った。

< 堤委員 >

シンボルプロジェクトの業務委託も毎年するのか。

< 夢ビジョン推進課長 >

基本的なフォームは H 2 4 で作成できたので、今後は進行管理にかかる中身について専門的な見地からアドバイスいただくことで引き続き業務委託している。

< 中村委員 >

P 1 5、職員研修について、担当課はもっと予算をかけてしたいと考えているのか、今ぐらいでいいと思っているのか。

P 1 6、行財政改革の成果、3 億円強の中で大口の成果の例は。

< 人事課長 >

年間合計2,645名が研修受講した。そのほか職場研修も行っている。組織を強くするには人材育成が大事であるので、人事課としては人材育成基本方針に基づき、引く続き充実させていきたいと考えている。

<夢ビジョン推進課長>

会計課における普通財産の処分が一番大きかった。その他は市税の収納率の向上、予算の経常経費の削減、管理職手当の削減等である。

<中村委員>

人材育成は大事な財産であり、必要な経費は使えばいいと思うので十分検討されたい。

無駄なものは早急に売却し、固定資産税を増やすという意識を持ってやっていってほしい。

<並河委員>

P13、副市長の退職金について、府下の状況から見てどうか。

<人事課長>

府下では上位の方である。トップではない。退職金以外の手当等をプラスすると他市の方が高くなることもあるが、総合的に勘案して条例で整理している。

<並河委員>

積算根拠は。

<人事課長>

職員の退職手当に関する条例に基づき、給料月額に支給率325/100をかけてその4年分の金額が退職金となる。

<吉田委員長>

P14、入札執行に関してランク別に落札率の資料を提出されたい。

放課後児童会の補助者はアルバイトであるので交通費が出せない現実になっている。交通費を出せるような規則改正は考えられないか。京都府の最低賃金の上昇と合わせてスライドさせる考えは。

P16、行革推進委員会は3回の開催でアイデアが出るのか。委員から出てきたことで反映されたことがあるなら示されたい。

<契約検査課長>

H24の建設工事の落札率資料については後程提出する。

<人事課長>

アルバイトはいろいろな任用形態があり、人数も多いので交通費は厳しいと考えている。非常勤職員には費用弁償として出している。最低賃金に合わせての考えは持っていない。

<夢ビジョン推進課長>

収納率向上対策に係る状況報告もしている。収納に係る提言もいただき、庁内関係課で課題に向けて進めているというものもある。

<吉田委員長>

アルバイト職員は何人いるのか。本庁はまだいいが、遠方の場合はぜひとも検討されたい。

<人事課長>

人事課で押さえているのは、H24で60名程度。

<堤委員>

アルバイトはどんな職種でも均一か。

<人事課長>

時間単価は一緒である。

<企画管理部長>

最長の7時間45分勤務(8時30分~17時15分まで)で5,900円。9時~17時15分勤務、4時間勤務の3パターンあり、金額は時間で割り返したものになる。府の最低賃金に係る考え方は、例年、職員団体との交渉事項にもなっている。今後検討を進めていく必要があると思っている。

<田中副委員長>

P15、職員の健康管理について、巡回検診、人間ドッグの受診対象者は決まっているのか。また、どちらかを受ければ一方は受けられないのか。

<人事課長>

巡回検診、人間ドッグのどちらかを本人の希望で選択する。府下でも受診率が高い。

<田中副委員長>

100%ではないと思うが、その年度で検診を受けていない人へ積極的に働きかけられたい。

<人事課長>

受信状況をチェックし、指導もしている。精密検査がいる人にはそれも指導している。

(企画管理部退室)

~16:05

(休憩)

16:17~

【会計管理室】

会計管理室長 挨拶

会計課長 説明

~16:41

質疑

<西村委員>

台風18号で里道水路がひどい状態になっている。どこが直すことになっているのか。

<会計課長>

里道水路は基本的には地元となっているが、今回は何件か災害で補助事業にあがっていると聞いている。会計課は底地管理をしており、維持管理は土木管理課が所管になる。会計課での対応はない。

<堤委員>

P187、公用車143台の中に議長公用車は含まれているのか。

<会計課長>

含まれている。

<堤委員>

公用車運行嘱託職員は具体的に誰の運転をするのか。

P188、市民総合倍賞補償保険はどんな場合に適用か。

千歳町国分寺遺跡の整備のための4名からの土地買収の進捗率は、まだ残っているのか。

< 会計課長 >

議長公用車専用ではない。再任用職員と嘱託職員と正職員の計3名で運用しており、議長車専用という位置づけではない。京都タクシーへ運行委託しており、それに対応しているものもある。

市民総合倍賞補償保険は、市民が来庁時に怪我をされたとき、また、市主催のイベント時のけがに適用。但しボランティア参加のみが条件。

わからない。

< 堤委員 >

議長専用運転手の賃金がいつの間にかなくなっているのはなぜか。わかれば答えられたい。

地下駐車場に職員が車を止めている。何度も指摘しているのに、まだ置いている。理由は。他の職員にけじめがつかない。

< 会計管理室長 >

予算面での話で、議会費の総枠の中で査定され、トータルで増員されたと聞いている。

< 会計課長 >

早急に確認する。あってはならないことであるので再発防止に努める。

< 堤委員 >

地下駐車場に議員が駐車できない日がある。徹底されたい。

< 吉田委員長 >

南つつじヶ丘の土地の売却単価、売却先は。

地籍調査について、会計課所管と聞いている。人間的な問題もあると聞いているが、これから駅北の開発も進むので実施すれば有利ではないかと思うが考えは。

調査・測量業務について、土地家屋調査士会と随意契約して業務発注されていると思うが、H24の発注先業者名を資料で提出されたい。

< 会計課長 >

南つつじヶ丘の土地は、大葉台は(有)ASCに36,553円/m²で、桜台は積水ハウスに41,312円/m²で売却した。

地籍調査は会計課所管であるが人間的、組織的な関係で出来ない状況である。

今、資料がない。後程提出する。

< 会計管理室長 >

地籍調査については、「市として実施する」ということで所管になっているのではなく、調査研究の段階である。一般質問でも緊急性がないと市長が答弁された。駅北の区画整理についても同等の調査をするので登記した場合、同じ効果をもたらすと聞いている。

調査士会から先の発注先は答えられないかもしれないので、その節はご了承を。

< 吉田委員長 >

南つつじヶ丘の件は公売か。

地籍調査は無理にとは言っていない。要望である。

資料は市にある範囲でよい。

< 会計課長 >

一般競争入札である。

(会計管理室退室)

~ 16 : 57

< 吉田委員長 >

それでは、本日の審査はこれまでとする。

< 事務局 >

明日の日程説明。

< 吉田委員長 >

これで総務文教分科会を閉議する。明日は10時から再開する

～ 16 : 59 閉議